



進行したむし歯の進み方



こあら新聞

第 26 号

担当 武田 知子

むし歯がある程度進行すると、水がしみ、噛むと痛い、何もしなくても痛いなど、いろいろな形で痛みを感じようになります。場合によってはとても苦痛を伴うものとなりますが、「歯が痛い!」と感じるのは、歯の内部やその周辺の異常事態を体が知らせてくれるためです。そういう意味では、異常を知らせるアラームのようなもので、むしろありがたいことと言えます。



むし歯の進み方

むし歯は、エナメル質表層の脱灰現象から始まり、やがて穴があき【C1】、象牙質にまで及んだ【C2】時点で治療がなされないと、歯髄にまで達して【C3】、さらに放置すると根だけのポロポロな状態【C4】になってしまいます。初期の段階では痛みはありませんが、C2以上の状態になると痛みが生じるようになります。

歯の痛みの原因はいろいろありますが、今回は歯髄に由来する痛みについてご説明したいと思います。



「歯髄」とは?

歯髄とは俗に歯の神経と呼ばれるものですが、実は神経だけではなく血管、リンパ管なども含む、特殊な組織です。むし歯が深くなると生体の反応として、象牙質に接する歯髄の一部が自ら象牙質に変化をし、歯の内部の厚みを保とうとします。

しかしながら、それほど速いスピードで変化するわけではないので、むし歯が急激に進もうとすると、間に合わず病変が歯髄に達してしまいます。



痛みがおこるしくみ

ここからも、専門用語があつて少し難しい話になります。

象牙質は歯髄側からエナメル質の近くまで「象牙細管」という細い管が無数に走り、管の中は組織液で満たされています。

本来、歯の内部は密閉されているので、歯の外側に刺激が加えられても組織液は動きません。しかし、むし歯が進行してエナメル質に穴があくと象牙質がむき出しになり、それが刺激を伝える通路になって組織液が動きま

冷たい水や甘い物で痛みを生じる時、エナメル質の温度が下がり、組織液がエナメル質側に移動します。液体は薄い方から濃い方に流れる性質があるため、唾液より密度の濃い物を口にしたことにより、神経の終末が刺激されて痛みが生じます。みなさんご存知の知覚過敏も、同じようなメカニズムで痛みが発生します。この場合は、お薬を塗って症状の改善を試みます。



治療法

むし歯が深い部分にまで進行して歯髄にまで達した場合は、歯髄を除去する「抜髄」が必要になります。今回はむし歯が進行した場合でご説明していますが、歯髄が侵される原因はむし歯だけでなく、歯が割れたり折れたりした時も該当します。

「神経を抜く」といわれる治療は、神経を含めた歯髄を除去する「抜髄」という治療です。では、どのような流れで進めていくのかご紹介します。





治療の流れ

①

局所麻酔の後、むし歯になっっているエナメル質、象牙質を削り、歯髓腔の天井にあたる部分は完全に除去し、歯髓を露出させます。

②

抜髓針（細い針金で先がトゲトゲになっている）で、歯髓をからめとるように回転させながら引き抜きます。その後、リーマーやファイルとよばれる根管拡大用の金属でできた極細の器具で、根管の中をきれいにします。その際、電気的根管測定器を用いて根管の長さを測り、リーマーやファイルが根の先から突き抜けてしまわない位置にゴムのストッパーをつけます。

③

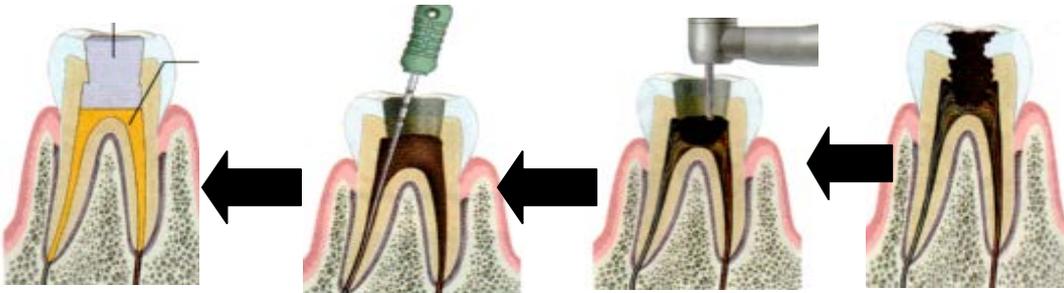


根管内を洗浄したあと消毒の薬をつめ、仮づめをします。

④

だいたい2・3回根の消毒（お薬の交換）をし、根管内がきれいになったら、最終的なお薬をつめて（根管充填）根の治療は終了となります。

抜髓治療の方法



まとめ

むし歯の進行や、むし歯が歯髓に達すると、抜髓という治療が必要になりましたでしょうか。

どの治療もそうですが、抜髓後は特に根管内を清潔に保つために、中断せずに来院されることが望ましく、とても大事なことです。

こあら先生より一言

楽天のリーグ初優勝は、いろいろな意味で大変すばらしいことですし、東北人として喜ばしいことです。高い志を持って日々努力することの大切さを感じます。加えて重要なのは健康管理ですね。反省。

スタッフの広場



先日、甥っ子が3歳になりました♪お喋りがとても上手になり可愛いのですが、どこで覚えたの？と思う言葉も増え、おもしろいです★ 板坂

この間、秋田の田沢湖にドライブへ！澄んだ真っ青な湖は心が洗われますよ♪ぜひ一度行ってみたい下さい！ 長澤

すっごくキレイな満点の星空を見ってきました★キレイすぎて感動している所に流れ星が…。幸せな夜でした(//▽//) 武田

最近新たな運動アイテム導入しました。エア縄跳びです！足、腕に効いているような…。場所をとらないのがGoodです★ 吉田